

7月6日 武蔵中学校福祉体験学習

武蔵中学校の1年生34名が、「高齢者」や「障がい者」への理解を深めるため、むさし苑で福祉体験学習を行いました。生徒達は、むさし苑の職員に指導を受けながら、車イスを使って操作や補助の体験、アイマスクを付けて視覚障がい体験、重りや拘束具を使って高齢者疑似体験を行いました。



7月10日 商工会女性部が七島藺でおもてなし

大分空港出発ロビーで、国東市商工会女性部の皆さんが、国内唯一の生産地である国東地域の七島藺を広く知ってもらおうと、手作りのストラップ200本を無料配布しました。この日は、「くにさき七島藺の日」ということで、工芸品の展示やストラップ作りのワークショップも行い、くにさき七島藺の魅力を多くの方にアピールしました。



7月18日 合同水難救助訓練

国東警察署と国東市消防本部合同の水難救助訓練が国東町の北江漁港で行われました。訓練は、急に大雨が降り、漁港で釣りをしていた人が遭難したという想定で行われました。海上で溺れている人やテトラポット上に孤立した人の救出訓練、溺水行方不明者の捜索・救助訓練、ドローンによる捜索活動などに真剣な表情で取り組んでいました。



7月19日 国東高校生が全国大会出場を報告

全国高等学校総合体育大会（8月上旬から東海地方で開催）に出場する柔道部とウエイトリフティング部、弓道部、全国高等学校総合文化祭（長野県）に出場する将棋部の生徒が、市長に報告に訪れました。各部の代表が三河市長に全国大会での活躍を力強く約束しました。



7月23日 巴田琉碧君が「侍ジャパン」U-12代表に選出

巴田琉碧君（武蔵東小・6年）が、8月13日から台湾の台北市で開催される「第10回 BFR U12アジア選手権」に出場する野球日本代表に選ばれ、出場報告に訪れました。巴田君は、大分県では初めて内野手兼投手として代表選手に選ばれました。巴田君は、「日本代表が前回に引き続き優勝できるようにチームに貢献し、MVPを獲得したい」と活躍を誓いました。



6月27日 株式会社陸栄と進出協定を締結

木炭を生産販売する株式会社陸栄（東京都、西貝剛社長）が、市役所で進出協定締結式を行いました。陸栄が国東市に進出することを決めたのは、茶道用木炭に使用するクヌギの木が豊富にあることから、既に国見町大熊毛にある工場では、今年3月から2基の窯で生産が始まっています。三河市長は、「雇用や地場産業の発展、さらには里山整備につながる可能性もあり、非常にありがたい。全力で応援していきます」と述べました。



左から大塚東部振興局長、三河市長、西貝社長、野田議長▶

6月28日 福岡天神「レストランテKubotsu・国東フェア」

福岡市中央区天神のイタリア料理店「レストランテ Kubotsu」で国東フェアが開催されました。「世界農業遺産の里・日本遺産の里」である国東の産品ブランドを、一流シェフの腕によって、さらにその価値を高め、お客様に直接、魅力を伝えようとするものです。窪津朋生料理長が自ら国東に足を運んで選んだ食材が、一夜限りの特別コースとなり、ワインと一緒に約70名のお客様に振る舞われました。



7月21日 犯罪被害者支援講演会

犯罪被害者支援講演会が、アストくにさきマルチホールで開催されました。この講演会は、大分被害者支援センターが毎年開催しているもので、今回は県内で初めて犯罪被害者支援条例を制定した国東市で開催することになりました。基調講演では、講師の工藤千恵さんが会場に集まった90名の参加者に、実体験に基づいた性犯罪に対する思いを語りました。



7月21日 天球館20周年記念イベント

梅園の里天文台 天球館で20周年記念イベントが開催されました。参加者は、ドローンの操作体験や太陽や金星の天体観測を楽しみました。また、記念講演では、三浦梅園資料館の浜田晃元館長と岩見輝彦研究員が、「梅園先生が見上げた夜空」と題して、三浦梅園が残した文献から天文学や日食に対する考え方について講演しました。

